



曲名 大切なもの

山崎朋子 作詞・作曲

この曲は！

心と心が通い合うすばらしい合唱作品をたくさん作詞作曲されている山崎朋子さんの代表作品、大人気の合唱曲です。歌詞とメロディー、そしてハーモニーが見事に融合されていて大変感動的！歌い終わった後に、歌い手も聴き手も、温かい気持ちがいっぱい広がります。歌がもたらす余韻、いっぱい感じてくださいね。

藤原式練習法

- ・まず、この曲のメロディーをユニゾンで味わいながら全員で存分に歌おう。
- ・自信のある人は、遠慮せず1人で歌ってみてもすてき！（この曲で、歌自慢大会のような「歌声コンテスト」をしても楽しいかも!?)
- ・この曲のメロディーは歌詞との融合が秀逸です。メロディーを部分ごとに分けてリレーで歌うのも楽しいでしょう。歌う人、みんなが主役です！！
- ・ユニゾンを感じたら、ハーモニーが動き出すところを味わってみよう。ソプラノとアルトの3度の重なりによるハーモニーを感じて、そこから広がり展開していくところをしっかりと捉えよう。
- ・男声パートは女声パートを追いかけていきます。女声の上行形に対して、男声は下行していき、この交差の先に3声の縦がそろいます。そして一気に気持ちを高揚させ、「大切なものに」とメインテーマとなるサビを歌い上げます。
- ・どんな作品も曲の構成を最初に捉えることは大切で、演奏するうえでの大きな組み立て、指針となるでしょう。

具体的なアドバイス・ポイント

- ・「空にひかる星を 君とかぞえた夜 あの日も 今日のような風が吹いていた」
この冒頭の歌詞は8分音符で語られますが、同じ8分音符の中にも、丁寧に少し時間をかけて発する子音もあります。子音の発音の仕方、そして美しい母音によってレガートのきれいなフレーズが流れるとすてきです。
- ・自然に丁寧に語りたい言葉にマーカーで色を付けたり、アンダーラインを引いたり、○で囲んだりして、美しい語りを心がけよう。言葉のニュアンス、スピード感、しなやかさなど、たくさん表現を工夫しよう。

この曲を 初めて歌う人に

この曲は歌詞の美しさ、共感性に満ちています。そして歌うことの喜びに満ちた曲です。初めて歌う人もきっとすぐに大好きになる曲だと思います。声高らかに心から楽しんで歌ってくださいね。きっと大好きな言葉や大好きなフレーズが体の中を駆け巡り、忘れられないメロディーがあふれるでしょう。

表現を深めよう

この曲は、美しく語る部分と心から歌い上げる部分が美しく力強く絡み合っています。自然な高揚感を大事にしながら、のびのびと歌い上げて、歌っていることの充実感や達成感を存分に味わってくださいね。

より感動的に 歌い上げるための アドバイス

この曲はDes dur（変二長調）で作曲されています。変二長調は包容力があり、慈愛の調性ともいわれます。

ピアノパート右手の4ビートが、切々と音楽を支え進行していきます。また、ピアノパート左手の下行するベースラインが、深い気持ちや祈りを表現しています。その左手のリズムが徐々に動き出し、気持ちを高めていきます。

前奏も間奏も含め、すべてを感じることで、きっとこのすばらしい音楽がより深まると信じています。